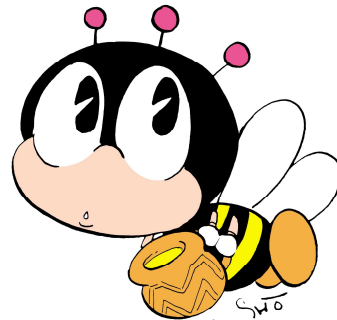


(付) 調査票様式

新潟市生涯学習市民意識調査



生涯学習に関するアンケート

新潟市は、生涯学習の推進を重要課題の一つに位置づけて取り組んでいます。

このアンケートは、市民のみなさんの学習や文化・スポーツ活動、社会活動の様子やご要望をうかがって、今後の生涯学習推進のための基礎的な資料として活用するためにおこなうものです。

市内にお住まいの20歳以上の方の中から、2,500人をくじ引きのような方法で無作為に選ばせていただき、新潟市教育委員会が㈱ITスクエアに委託して実施しています。

このアンケートへの回答はすべて無記名としていきますので、決してご迷惑をおかけすることはありません。

どうぞ、お気軽にお答えください。

ご記入にあたって

このアンケートは、封筒の**あて名**ご本人が記入してください。

それぞれの設問の選択肢から、**あてはまる番号**に 印を記入してください。

「その他」の場合は、()内に内容を具体的に記入してください。

それぞれの設問の指示に従って、**最後まで**記入してください。

記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、**6月10日(火)**までにお近くの郵便ポストに投かんしてください。

このアンケートについてのご意見やお問い合わせは、

新潟市教育委員会生涯学習課 までお願いします。

電話 >>>>> 025-226-3221〔直通〕

E-mail >>>>> gakushu@city.niigata.lg.jp

平成20年5月

新潟市教育委員会

1. あなたの生涯学習活動への関わりについてお聞きします。



「生涯学習活動」とは...

生涯学習活動とは、一人ひとりが自発的に生涯を通じて行なう学習活動のことをいいます。
生涯学習には、個人の学習活動のほか、学校教育や社会教育などの組織的に行なわれる学習、さらにはスポーツ、文化、レクリエーションなど、趣味的なものから職業能力の向上を目指すものまで、あらゆる学習活動が含まれます。

問1. あなたが今、おこなっている生涯学習活動はありますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 文化・教養に関すること（文学・歴史・科学・思想など）
2. 芸術・工芸に関すること（美術・音楽・芸能・園芸・日曜大工など）
3. スポーツ、レクリエーション、健康づくりに関すること（水泳・ダンス・ウォーキング・キャンプなど）
4. 福祉に関すること（手話・点字・介護技術など）
5. まちづくりに関すること（地域学・都市工学など）
6. 子育て・教育に関すること
7. 仕事上の知識・技能に関すること（資格取得・様々な能力の習得など）
8. 家庭生活に関すること（料理・編み物など）
9. 政治・経済に関すること
10. 環境問題に関すること
11. 人権擁護に関すること（男女平等・同和問題など）
12. 国際化に関すること（語学・国際交流・海外旅行など）
13. 情報化に関すること（パソコン・インターネットなど）
14. その他（具体的に： _____)
15. 特にない → **5ページの間6までお進みください。**



(問1で『生涯学習活動をおこなっている』と答えた方にお聞きします。)

問2. あなたは、その生涯学習活動をどのような方法でおこなっていますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 本・雑誌・新聞
2. インターネット・携帯電話
3. テレビ・ラジオ
4. 通信教育・放送大学
5. 大学・専門学校の公開講座
6. 市や県の講座や講習会

7. 仲間とやっているグループ・サークル・団体など } (以下の付問にお答えください。)
8. 民間の塾・文化教室・スポーツクラブなど
9. その他(具体的に:)

「7. 仲間とやっているグループ・サークル・団体など」を選んだ人にお聞きします。

(付問) そのグループ等は、どのような活動をしていますか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 地域づくり・ボランティア活動
2. 子育て支援活動・教育支援(学校支援)活動
3. 政治・経済について学ぶ活動
4. 歴史・郷土史について学ぶ活動
5. 文化・芸術活動
6. スポーツ・レクリエーション・野外活動
7. 自然保護・環境美化活動
8. 衣食住について学ぶ活動
9. 技術や資格を身につける活動
10. その他(具体的に:)

(引き続き、問1で『生涯学習活動をおこなっている』と答えた方にお聞きします。)

問3. あなたは、その生涯学習活動をどこでおこなっていますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 自宅

2. 公共の屋内外施設 } (以下の付問にお答えください。)

3. 民間の屋内外施設

4. 山、海、野原などの野外

5. その他(具体的に:)

「2. 公共の屋内外施設」を選んだ人にお聞きします。

(付問)それは、どのような公共施設ですか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 生涯学習センター・公民館・学習館
2. 図書館
3. 体育・スポーツ施設
4. 芸術・文化会館, 美術館
5. コミュニティセンター, 農村環境改善センター, 自治会館
6. 博物館, 資料館
7. 福社会館, 保健福祉センター, 老人福祉センター
8. 保育園, 幼稚園, その他の子育て施設
9. 大学・専門学校
10. 小学校・中学校・高校
11. その他(具体的に:)

(引き続き、問1で『生涯学習活動をおこなっている』と答えた方にお聞きします。)

問4. あなたが問3で選んだ施設は、どこにありますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 新潟市内
2. 新潟市以外の新潟県内
3. 新潟県外
4. その他(具体的に: _____)

問5. あなたは、生涯学習活動で身につけた知識や技能をどのように活かしていますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 自分の趣味の活動に活かしている
2. 自分の健康づくりに活かしている
3. 学業や学校生活で活かしている
4. 仕事や就職で活かしている
5. 資格の取得に活かしている
6. 学習やスポーツ, 文化活動などの指導に活かしている
7. ボランティア活動に活かしている
8. 地域での活動に活かしている
9. その他(具体的に: _____)
10. 活かしていない



ここからは、再び全員にお聞きします。

問6 . あなたが、これから生涯学習活動としておこなってみたいと思っていることはありますか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

- 1 . 文化・教養に関すること（文学・歴史・科学・思想など）
- 2 . 芸術・工芸に関すること（美術・音楽・芸能・園芸・日曜大工など）
- 3 . スポーツ、レクリエーション、健康づくりに関すること（水泳・ダンス・ウォーキング・キャンプなど）
- 4 . 福祉に関すること（手話・点字・介護技術など）
- 5 . 仕事上の知識・技能に関すること（資格取得・様々な能力の習得など）
- 6 . 家庭生活に関すること（料理・編み物など）
- 7 . 政治・経済に関すること
- 8 . 環境問題に関すること
- 9 . 人権擁護に関すること（男女平等・同和問題など）
- 10 . 国際化に関すること（語学・国際交流・海外旅行など）
- 11 . 情報化に関すること（パソコン・インターネットなど）
- 12 . その他（具体的に： _____)
- 13 . 特にない

問7 . 生涯学習活動をもっと盛んにするために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を3つ選んでをつけてください。

- 1 . 利用できる施設の数を増やす
- 2 . 施設の設備・備品を充実させる
- 3 . 学校施設をもっと地域に開放する
- 4 . 専門的な知識を持つ職員を多く配置する
- 5 . 講座や行事，イベントを増やす
- 6 . 講座の内容を充実させる
- 7 . 講座や事業などの広報を充実させる
- 8 . インターネットによる情報提供を充実させる
- 9 . 住民のニーズや満足度などを把握して、施策に反映させる
- 10 . リーダーを育成する
- 11 . ボランティア活動を支援する
- 12 . グループや団体等の自主的な活動を支援する
- 13 . その他（具体的に： _____)

問 8 . あなたが生涯学習活動をおこなう上で、手に入れたい情報はありますか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

- 1 . 講座や催し物についての情報
- 2 . 指導者や講師についての情報
- 3 . リーダーについての情報
- 4 . 活動の相談窓口
- 5 . 施設の内容や利用方法
- 6 . 市・県や財団からの資金援助の申込み方法
- 7 . グループ・サークルの活動内容についての情報
- 8 . ボランティアの活動内容についての情報
- 9 . その他（具体的に： _____)
- 10 . 特にない

2. あなたの社会活動への関わりについてお聞きします。

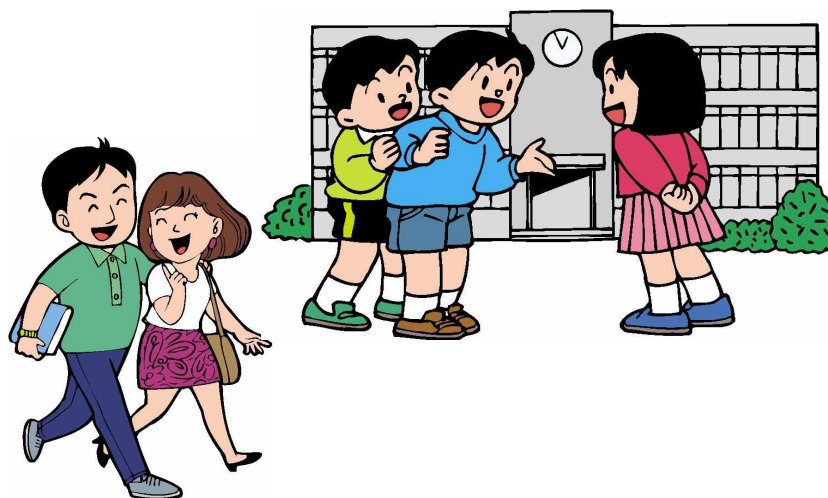


「社会活動」とは...

社会活動とは、市民自らが個人や組織、団体を問わず、様々な分野での地域活動やボランティア活動、NPO活動などに参加し、地域のニーズや課題に取り組む活動をいいます。

問9. あなたはこの1年間、どんな目的であなたがお住まいの地域にある小・中学校へ行きましたか(ただし、「選挙のため」を除く。)。あてはまる番号に、すべてをつけてください。

1. 授業参観のため
2. 個人懇談のため
3. 学校行事のため (運動会・文化祭・合唱コンクールなど)
4. 授業(総合学習)の発表会のため
5. PTA活動のため
6. セーフティ・スタッフ活動のため
7. 学校支援ボランティア活動のため (読み聞かせ・昔あそび・学校環境整備など)
8. 授業補助のため
9. ふれあいスクールボランティア活動のため
10. 特別支援教育ボランティア活動のため
11. 非行防止活動のため (中学校サポートチーム活動・街頭育成活動など)
12. 学校開放による活動のため (スポーツ・文化活動など)
13. 地域の行事のため
14. その他(具体的に: _____)
15. 行かなかった



問10. 次の中で、あなたがこれまでに参加したことがある社会活動はありますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 文化・芸術に関わる活動
2. 健康づくりに関わる活動
3. 障がい者・高齢者などの福祉に関わる活動
4. 地域行事に関わる活動
5. 学校支援や青少年育成に関わる活動（セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど）
6. 防犯・防災・交通安全に関わる活動
7. 災害救援活動
8. 環境保護・環境美化に関わる活動
9. 人権擁護に関わる活動
10. 国際交流に関わる活動
11. その他（具体的に： _____ ）

12. これまで上記のような社会活動に参加したことはない } （以下の付問にお答えください。）

「12. これまで上記のような社会活動に参加したことはない」を選んだ人にお聞きします。

（付問）参加しなかった、できなかった理由は何ですか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 時間が足りなかった
2. 自分の力不足を感じていた
3. 一緒に活動する仲間がいなかった
4. 意見や考えが合わなかった
5. 身体への負担が大きかった
6. 世話を必要とする家族（小さい子どもや高齢者など）がいた
7. 活動に興味や関心がない
8. 活動を必要だと感じていなかった
9. 金銭的な余裕がなかった
10. 身近に活動の場がなかった
11. 活動するための情報が不足していた
12. 身近に指導者がいなかった
13. その他（具体的に： _____ ）



「これまで社会活動に参加したことはない」方は、11ページの問14までお進みください。

(問10で『社会活動に参加したことがある』と答えた方にお聞きします。)

問11. あなたが、社会活動に参加したきっかけは何ですか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 講座等を通じて興味・関心を持ったから
2. 団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから
3. 学校時代の経験を通じて興味・関心を持ったから
4. 身近な人の介護・支援に関わった経験を通じて興味・関心を持ったから
5. ポスターやチラシ、広報紙などを見て興味・関心を持ったから
6. テレビやラジオ、新聞などを見て興味・関心を持ったから
7. インターネットを見て興味・関心を持ったから
8. 地域や団体からお願いされたから
9. 友達に誘われたから
10. その他(具体的に: _____)

問12. あなたが社会活動をおこなううえで、役に立ったものはありますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 市や県が開催した講座、講習会、リーダー研修など
2. 大学・専門学校の公開講座など
3. 民間の講座・講習会など
4. 自主的なグループ活動や学習会など
5. 自分の活動で得た経験
6. 活動の仲間からの助言
7. 新聞や雑誌、テレビなど
8. インターネット
9. その他(具体的に: _____)
10. 特にない

(引き続き、問10で『社会活動に参加したことがある』と答えた方にお聞きします。)

問13. あなたは、その社会活動を今も続けていますか。
あてはまる番号に1つだけをつけてください。

1. 続けている

2. 一時的に休んでいる、またはやめてしまった活動がある

3. すべての活動をやめた

(以下の付問にお答えください。)

「2. 一時的に休んでいる、またはやめてしまった活動がある」
あるいは、「3. すべての活動をやめた」を選んだ人にお聞きします。

(付問) 休んだ、あるいは、やめた理由は何ですか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 時間が足りなくなった
2. 自分の力不足を感じはじめた
3. 一緒に活動する仲間がいなくなった
4. 意見や考えが合わなくなった
5. 身体への負担が大きくなってきた
6. 世話を必要とする家族(小さい子どもや高齢者など)ができた
7. 活動への興味や関心が薄れてしまった
8. 活動が必要だと感じなくなった
9. 金銭的な余裕がなくなった
10. 身近に活動の場がなくなった
11. 活動するための情報が少なくなった
12. 身近な指導者がいなくなった
13. その他(具体的に: _____)

ここからは、再び全員にお聞きします。

問14．あなたが今後、参加してみたい社会活動はありますか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

- 1．文化・芸術にかかわる活動
- 2．健康づくりにかかわる活動
- 3．障がい者・高齢者などの福祉にかかわる活動
- 4．地域行事にかかわる活動
- 5．学校支援や青少年育成に関する活動（セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど）
- 6．防犯・防災・交通安全にかかわる活動
- 7．災害救援活動
- 8．環境保護・環境美化にかかわる活動
- 9．人権擁護にかかわる活動
- 10．国際交流にかかわる活動
- 11．その他（具体的に： _____)
- 12．特にない

問15．あなたが社会活動に参加するうえで、大切だと思う条件は何ですか。
あてはまる番号にすべてをつけてください。

- 1．時間のゆとり
- 2．自分の力量を高める学習機会
- 3．一緒に活動する仲間・友人
- 4．健康・体力
- 5．家族の協力
- 6．保育・託児の場
- 7．活動費用
- 8．活動の場
- 9．活動するための情報
- 10．指導者・リーダーの存在
- 11．勤め先の理解や協力
- 12．その他（具体的に： _____)
- 13．特にない

3. あなたの「人との関わり」についてお聞きします。

問16. あなたが生涯学習活動や社会活動に参加するとき、どんな年代の人たちと関わっていますか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 乳幼児
2. 小学生
3. 中学生
4. 小・中学生以外の10代
5. 20代
6. 30代
7. 40代
8. 50代
9. 60代
10. 70代
11. 80代以上
12. 関わっていない



問17. あなたは今、どんな人たちと一緒に生涯学習活動や社会活動をしていますか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

1. 家族・親族
2. 友人
3. 共通の興味や目的を持つ人
4. 近隣の住民
5. 自分の職場の同僚
6. 行政関係者
7. 学校関係者
8. 企業関係者
9. ボランティア団体や市民活動団体などのメンバー
10. 専門家
11. その他(具体的に: _____)
12. 一緒に活動している人はいない

問18．あなたがこれから生涯学習活動や社会活動に参加するとき、どんな年代の人たちと関わってみたいと思いますか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

- 1．乳幼児
- 2．小学生
- 3．中学生
- 4．小・中学生以外の10代
- 5．20代
- 6．30代
- 7．40代
- 8．50代
- 9．60代
- 10．70代
- 11．80代以上
- 12．関わりたいと思わない

問19．あなたはこれから、どんな人たちと生涯学習活動や社会活動をしてみたいと思いますか。あてはまる番号にすべてをつけてください。

- 1．家族・親族
- 2．友人
- 3．共通の興味や目的を持つ人
- 4．近隣の住民
- 5．自分の職場の同僚
- 6．行政関係者
- 7．学校関係者
- 8．企業関係者
- 9．ボランティア団体や市民活動団体などのメンバー
- 10．専門家
- 11．その他（具体的に： _____)
- 12．特にいない

4. あなた自身のことについてお聞きします。

属問1. 性別をお答えください。

1. 男性
2. 女性

属問2. 平成20年6月1日現在の満年齢をご記入ください。

歳

属問3. お住まいは何区ですか。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 北区 | 4. 江南区 | 7. 西区 |
| 2. 東区 | 5. 秋葉区 | 8. 西蒲区 |
| 3. 中央区 | 6. 南区 | |

属問4. あなたのご職業は何ですか。主なお仕事を1つだけお答えください。

1. (自営業) 農・林・漁業 [農業・林業・漁業の自営者]
2. (自営業) 商・工・サービス業 [小売店・飲食店・理髪店・修理店など]
3. (自営業) 自由業 [開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など]
4. (家族従業者) 農・林・漁業 [農業・林業・漁業の家業を継続的に手伝っている人]
5. (家族従業者) 商・工・サービス業 [商・工・サービス業の家業を継続的に手伝っている人]
6. (家族従業者) 自由業 [自由業の家業を継続的に手伝っている人]
7. (勤め人) 管理職 [民間会社・官公庁の課長職以上]
8. (勤め人) 事務職・専門技術職 [事務職員・教員・技術者など]
9. (勤め人) 技能・労務職 [技能工・販売店員・外交員など]
10. (無職) 主婦・主夫
11. (無職) 学生
12. (無職) その他

属問5．最後に在学した学校はどこですか（在学中、退学を含む）。

- 1．小学校、尋常小学校、高等小学校
- 2．中学校、旧制3年制実業学校
- 3．高校、中学卒業後に専門・専修学校、旧制中学、旧制5年制実業学校
- 4．短大、高専、高校卒業後に専門・専修学校、旧制高校、旧制専門学校
- 5．大学、大学院、大学卒業後に専門・専修学校
- 6．その他（具体的に： _____)

属問6．あなたの世帯の家族構成は、次のうちのどれですか。

- 1．ひとり暮らし
- 2．夫婦のみ
- 3．2世代世帯（親と子）
- 4．3世代世帯（親と子と孫）
- 5．その他（具体的に： _____)

属問7．毎日常生活を送るうえで目標にしていることは何ですか。
次の中から、最も重視することを**1つだけ**選んでください。

- 1．その日その日を自由に楽しく過ごす
- 2．しっかりと計画を立てて、豊かな生活を築く
- 3．身近な人たちと、なごやかな毎日を送る
- 4．みんなと力を合わせて、世の中をよくする
- 5．その他（具体的に： _____)

属問8. あなたが自由に使える時間は1日何時間ですか。
平日・休日それぞれ、あてはまる番号に1つだけ をつけてください。

【平日】 【休日】

- | | | |
|----|----|------------|
| 1. | 1. | 1時間未満 |
| 2. | 2. | 1時間以上2時間未満 |
| 3. | 3. | 2時間以上4時間未満 |
| 4. | 4. | 4時間以上6時間未満 |
| 5. | 5. | 6時間以上8時間未満 |
| 6. | 6. | 8時間以上 |



属問9. その時間をどのようなことに使っていますか。
平日・休日それぞれ、あてはまる番号にすべて をつけてください。
その他の場合は、下の枠内に平日・休日それぞれで、具体的に記入してください。

【平日】 【休日】

- | | | |
|----|----|-------------------------------------|
| 1. | 1. | 新聞や雑誌を読む・テレビを見る |
| 2. | 2. | 趣味や娯楽を楽しむ (読書・ゲーム・映画・音楽・ドライブ・買い物など) |
| 3. | 3. | スポーツを楽しむ・身体をきたえる |
| 4. | 4. | 家族との団らんを楽しむ |
| 5. | 5. | 近所づきあいや町内会活動をおこなう |
| 6. | 6. | 休養する |
| 7. | 7. | 学習や習いごとなどにとりくむ |
| 8. | 8. | 福祉・ボランティア活動などにとりくむ |
| 9. | 9. | その他 …… |

具体的に記入してください。

【平日の場合】

【休日の場合】

あ と が き

生涯学習市民意識調査の結果がまとまり、ここにご報告申し上げます。

おとなの学習ニーズは多様であることを特長としています。この多様性にも、粗く言って、2つの特色が見い出せます。1つは、市場原理に基づく学習要求ですし、2つは、教育・公共原理に基づく学習課題です。

急速に変わる現代社会は、情報化、国際化、高齢化などで新しい学習ニーズが生じてきて、ライフステージの移行に伴う学習課題も変化していきます。そこで、定期的な生涯学習市民意識調査が必要になります。

今回の調査は、生涯学習推進基本計画を策定するための基礎データを得ることを目的としています。この目的は、前回の調査（『生涯学習に関する市民の意識調査報告書』2000年3月）と同様です。

今回の調査は、生涯学習市民意識調査内容検討委員会と庁内プロジェクトチームが協働して、調査に係る事柄を検討した点で、前回の調査と異なります。委員会のメンバーは、齋藤勉（新潟大学）、中村恵子（新潟青陵大学）、内田健（新潟大学）の3名です。チームのメンバーは、生涯学習課、中央公民館、関屋地区公民館の職員6名です。

この9名で、4回の会議を開催しました。各回の検討内容を示します。

- 第1回 1.調査目的 2.調査の主眼（柱）の設定
- 第2回 確認事項 1.市政世論調査の回収率が高かった理由・方法
2.新・新潟市総合計画における社会貢献の位置づけ
3.パートナーシップ事業に係る調査項目の必要性
- 検討事項 1.調査項目の検討について
(1) 前回（H11.9調査実施）の調査項目について
(2) 今回調査でどんなことを知りたいか
- 第3回 検討事項 1.調査票について
2.調査項目追加について
- 第4回 検討事項 1.調査票（最終案）について
2.調査方法について
3.業務委託の内容について

生涯学習活動の範囲を個人的活動、社会的貢献活動、NPOの活動等に限定しました。

また、今回、教育ビジョンに示されている学・社・民の融合に関する設問を作ることになりましたので、地域と学校ふれあい推進課の意向も伺いました。

さらに、質問紙作成の最終段階で教育委員の方々からもコメントを加えていただくことで、市民にわかりやすい調査用紙ができあがりしました。

その後、調査実施、集計、分析、執筆、印刷を経て、この報告書ができあがりしました。

この報告書は、数多くの方々の協力の賜です。

生涯学習に関心をお持ちの方々に、お読みいただき、今後の生涯学習活動の推進にお役出ただけければ幸いです。

平成20（2008）年12月
新潟大学教授 齋藤 勉

新潟市生涯学習市民意識調査報告書

平成20年12月発行

新潟市教育委員会生涯学習課

〒951-8550 新潟市学校町通1番町602番地1

電話 代表 025(228)1000

<http://www.city.niigata.jp/info/shogaku/public/>
